

出

愛

令和6年度 流山市立おおぐろの森中学校
第2学年 学年だより 第3号
令和6年5月22日発行

Grow Schoolに向けて

いよいよ GrowSchool まで1か月をきりました。

「**自考・絆・挑戦 ～仲間と共に「認め合い」の種を成長させよう～**」

のスローガンのもと、福島県についての調べ学習や東日本大震災についての震災学習、部会活動に取り組んでいます。震災学習では、GrowSchoolでもガイドしていただき、いわき語り部の会の方々が作成したDVDを視聴しました。東日本大震災の被害の大きさや、その時その場所で起きたことについて、実際の映像を見ながら、一人ひとり真剣に考え、学びました。「語り部の方たちが津波には近づくな、早く逃げてと言っていたのでどれだけ早く判断をして逃げるかが命を守ることに繋がると思った。」「あらためて地震や津波の恐ろしさを感じた。」「動画にして東日本大震災のことを教えてくれて本当に日本にとって重要で大切な出来事だったんだなと思った。」「あんなに大変なことがあった後にも、協力してみんなが生きていこうと前向きな姿勢がかっこよかった。」等、それぞれが様々なことを感じ、考えることができました。当日は、実際に地震や津波が起こった場所で、語り部の方の話を聞き、人のこころの痛みを肌で感じながら、更に考えを深めてほしいです。また、大きな被害を受けながら復興を遂げたまちを巡り、助け合うことや協力することの大切さ学んでほしいと思います。

部会活動では、担当する役割や、2泊3日を気持ちよく過ごすためのマナーの確認をしています。スローガンにもあるように、自分達で考えながら、TPOに応じた身なりや確認事項について意見を出し合っています。

キャンプファイヤーの練習も始まりました。マイムマイムやオクラホマミキサーを全員で手をつなぎ笑顔で楽しく踊ることができました。キャンプファイヤーで歌う「オワリはじまり」のように、一生忘れられない様な出来事に会え、かけがえのない時間を胸に刻み込めることを願っています。



◎3日間のおおまかな行程

6月16日 (日) 1日目	7:00 10:30 12:40 16:00	学校(コミュニティプラザ)発 【震災学習】被災地ガイドツアー・資料館見学 いわき震災伝承みらい館・大久ふれあい館 (昼食)いわきワシントンホテル ヴィライナワシロ着 キャンプファイヤー 宿泊
6月17日 (月) 2日目	8:00 9:30 16:30	出発 農村体験 猪苗代方面 喜多方方面 農村体験開始 ホテル着 星を見る会等 宿泊
6月18日 (火) 3日目	8:15 9:15 11:20 12:00 13:00 17:15	出発 班別行動開始 飯盛山 武家屋敷 日新館 七日町通り 鶴ヶ城 等 鶴ヶ城観光案内所横集合 昼食 鶴ヶ城会館出発 コミュニティプラザ着 解散

☆農業体験について

2日目は農業体験の実施を予定しています。

各班毎に、猪苗代方面、喜多方方面の体験先に分かれ、終日体験をします。

<主な内容>

- ・ほうれん草、レタスの苗植え ・トマト支柱立て ・野菜畑のわら敷き
- ・ブルーベリーの摘果 ・りんごの摘果 ・野菜収穫、洗浄 ・トマト、ねぎの収穫
- ・アスパラの収穫 ・洋ナシへの袋掛け ・そば種まき ・エゴマの作付 など

体験先については現在決定に向けてすすめています。各農家によって作業内容が異なります。

◇農村体験の持ち物について

- ①軍手、タオル(首に巻ける長い物)、帽子、雨カッパ、水筒、着替え等を各自ご用意下さい。
肌の弱い方は、虫よけスプレーなど、ご持参ください。
- ②体験時は、長袖、長ズボン(中に半そで可)で、靴は汚れても良いものを着用してください。
(長靴等が必要な時は、農家が用意します。)

☆農村体験時の緊急対応について

猪苗代方面には1か所、喜多方方面には3か所の本部を設置します。体験先で体調不良等が発生した場合は 本部タクシーで迎えに行き、本部で休養をとります。

猪苗代方面本部：「猪苗代町総合体育館／カメリーナ」福島県耶麻郡猪苗代町鶴田141-2	0242-72-1534
喜多方方面本部：「おぐに交流の郷」福島県喜多方市熊倉町雄国字大谷地乙310番地2	0241-22-1816
「喜多方市役所山都支所」福島県喜多方市山都町広中新田1167	0241-38-3811
「岩月交遊館」福島県喜多方市岩月町宮津東原4843-1	0241-22-1324